

改訂の序

皆様、お待たせしました！あ、待ってない？…いやいやそう言わないで、嘘でもいいから、待ってたって言うのが心優しき大人の対応ってもんでしょ？愛が欲しいのよ、この年になるとね。ようやく第1巻の大幅改訂最新版ができあがりました。身震いするほどに新しいエビデンスを、あることないこと…じゃなく、あることあることを並べてポストレジデントのあなたのために夜なべして完成いたしました。パチパチパチ。

AHAは5年ごとに心肺蘇生のガイドラインを改定しやがり…じゃなくアップデートしてくれ、その割には大逆転の心肺蘇生法ははまだ見出されず、われわれはまだまだ心肺蘇生に対して真摯に立ち向かうべき課題は山積みなんだよね。教科書はわずか数年で時代遅れになってしまうため、本書でエビデンスを押さえつつ、新しい潮流に専心し、精進していこうではないですか？「少ない労力、最大効果」を合言葉に、アップデート知識を身につけましょう。

でもね、勉強って、近道はなかなかないんだよね。無駄な努力は大歓迎。あの手この手で記憶に残すことが大事であり、本書を読んだポストレジデントは多くの仲間に教えてあげよう。知識のインプットと同じくらい、アウトプットすると知識を定着できるのだから。そしてなかなか覚えられないと思ったら、枕元に一冊、医局に一冊、トイレに一冊置いておこう。きっと「騙された…」とわかるから（笑）。

「自分が診たい疾患を選ぶ医療」ではなく、目の前の「患者さんのニーズに応える医療」をめざす志しある臨床家のために本書を捧げます。基本をしっかり押さえた本物の専門医をめざしましょう。そうすればきっとあなたは患者さんのニーズにも応え、専門性も発揮できる素晴らしい医者になることでしょう。もちろん、generalをきわめたい人はぜひ人生を棒に振って…じゃなく高い志をもって総合医をめざしましょう。患者さんの期待に応えつつ、世界標準の医療を提供するプライドをもち続けて、ぜひself-directed learnerになりましょう。

賢いだけでは患者さんの心には響かない。医療に感動を！「医学的に正しいこと」では必ずしも患者さんは納得してくれない。コミュニケーション術は医療者として身につけないといけない技術なんだ。心配が心配でやってくる患者さんの態度もさまざま。「盗人にも三分の理」があるわけだから、「暴れる患者さんにも三分の理」くらいあってもいいじゃない。患者さん目線に対応すれば、厄介な患者さんも理解可能なことがほとんどで、その厄介さのほとんどはわれわれの偏見がつくった鏡なんだ。相手の行動は制御できないけど、自分の行動を制御すれば、ホラ新しい視野が開けてきた。

本書は初期研修医を脱皮したポストレジデントのためのワンランク上のエビデンス集なのだ。あ、そこの初期研修医君、君は読んではいけないよ。あなたが読んだら、上級医のネタがばれてしまって困るじゃないか。基本のできていない初期研修医は小手先の知識を入れても、天狗になるだけだから、臨床がもう少しわかってから本書を読むといい。もしどうしても先取りしたい初期研修医は読んでもいいけど、「あ、そのネタ、知ってます」と上級医に言って面子を潰してはいけないよ。

それにしても、改訂のために忍耐強く待ってくださった羊土社の方々に心より感謝します。

本書の正しい使い方は…

- ・ポストレジデントとしてお作法のACLSを脱皮して救命のためにチーム医療をめざす
- ・ポストレジデントとして、知ったか顔で初期研修医に本書の必読文献をさりげなく渡す
- ・ガイドラインの弱点について、周囲に「ちょっとこのセンス、切れ者だわ」と思わせる
- ・ECG一枚で患者さんの運命を左右するドクターGになる
- ・みんなが嫌がる危ない患者さんも心を鷲掴みにしてハッピーな職場に変化させる
- ・『Step Beyond Resident①』を持っている人に「アレ、それ改訂されてるんだぜ」とドヤ顔する
- ・『Step Beyond Resident①』を読んでいる初期研修医がいたら、「それは初期研修医は読んじゃいけないんだぞ」と注意しつつ、そばによって小声で「お前、やる気あるな」とツンデレ風に褒めてあげる
- ・とにかくお金を払って購入する…オイオイ、そこで自炊してる人！ダメだって裁断したら！
- ・Step Beyond Residentを「ステビヨ」とよんで昔からのマブダチだからという雰囲気を漂わせる
- ・枕元に一冊、医局に一冊、トイレに一冊、後輩のプレゼントに一冊…あ、もういい？ (^_^)
- ・本書を丸めて毎日素振りをする…突然のゴキちゃんの登場でもすぐに対応できる。あ、汚れたらまた買えばいいじゃん！♪
- ・間違っても『Step Beyond Resident②』の改訂を催促するようなメールを羊土社に送らない…死ねとおっしゃるんですか？
- ・少年ジャンプと本書とどっちが大事かと聞かれたら、迷わず少年ジャンプと答える心意気を見せる（医療者としてはかなり迷うところだが、そういう踏み絵もあり…かも）
- ・ERアップデートセミナーや教育講演等で筆者にあったら、本書を出してサインをもらう。ハンドアウトの裏のどうでもいいような紙や他人の著書にサインをもらうようなことは人の道にはずれてるんだってばさ！

2017年11月

林 寛之